YAZAKI

お客様用

LPガス警報器(分離型)

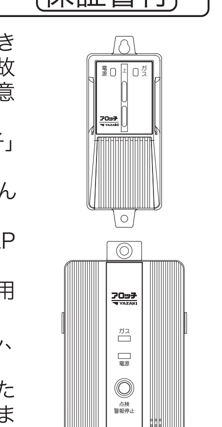
「高圧ガス保安協会」検定合格品

アロッ子

型式　YF-313A
［警報部:YF-313A
検知部:SD-026］

取扱説明書

保証書付



- ●LPガス警報器「アロッ子」をお取付けいただきまして誠にありがとうございます。ガスもれ事故防止のために、ガスの取扱いには一層のご注意をお願いします。
- ●この取扱説明書では、LPガス警報器「アロッ子」の取扱方法を説明しています。
- ●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。
- ●アロッ子はLPガスを検知して警報を発するLPガスの爆発事故防止用の警報器です。
- ●不完全燃焼及び酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
- ●本取扱説明書は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。
- ●本書を紛失された場合は、ガス販売事業者または、最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社までお問い合わせください。
- ●この取扱説明書では、本品を「警報器」と表記しています。

ガス販売事業者

（事業者の名称・連絡先・住所・電話・FAX などを記入してください。）

発売元
及び
製造元

矢崎エナジーシステム株式会社
発売元(本社)
〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号三田国際ビル17F
製造元(天竜工場)
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地

■警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

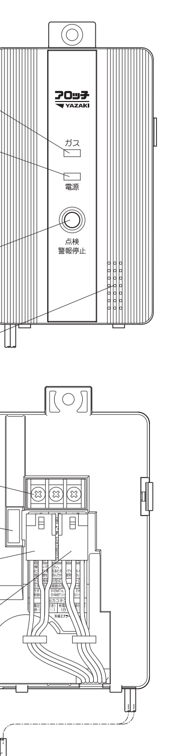
1. ご使用になる前に

アロッ子を正しく使用していただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
⊘	この表示は禁止事項を表しています。
❗	必ず行う

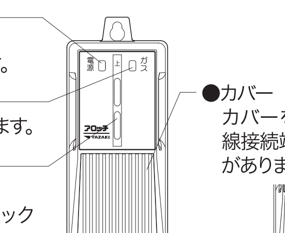
2. 各部の名称とはたらき

■警報部:YF-313A



- ●赤(ガス警報)ランプ
  ガス検知時に点灯または点滅します。
- ●緑(電源)ランプ
  - ・通常時点灯します。
  - ・故障時は速点滅します。
  - ・信号線異常時は2秒間隔で2回速点滅します。
  - ・交換期限切れ時は遅点滅します。
- ●点検/警報停止スイッチ
  スイッチを押すことにより、点検や警報停止などができます。
- ●警報スピーカ
  ガス検知時、故障時、信号線異常時などに鳴動します。
- ●信号線接続端子(+・S・−)
- ●業務用換気警報器接続コネクタ封印シール
- ●無電圧出力コネクタ(赤・白・緑)
  マイコンガスメータとの接続に使用します。
- ●有電圧出力コネクタ(白・灰・緑)
  ガス警報ブザー、集中監視盤、コントローラーとの接続に使用します。
- ●電源コード(長さ2.5m)
- ●電源プラグ(予備コンセント付)

■検知部:SD-026



- ●緑(電源)ランプ
  - ・通常時点灯します。
  - ・故障時は速点滅します。
- ●赤(ガス警報)ランプ
  ガスを検知すると点滅します。
- ●検知部(点検口)
  - ・ガスを検知します。
  - ・点検ガスをかけてチェックします。
- ●カバー
  カバーを外すと信号線接続端子(+・S・−)があります。

■仕様

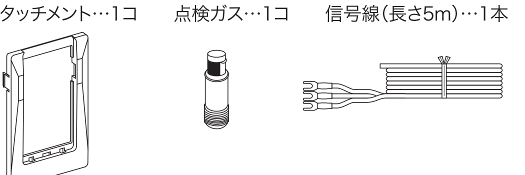
電源	定格電圧　AC100V 定格周波数　50/60Hz共用
消費電力	監視時　1.0W 警報時　1.7W
対象ガス	LPガス(プロパンガス)
警報ガス濃度	爆発下限界※の1/100〜1/4
警報方式	即時警報型自動復帰式
警報スピーカ	警報音量　70dB/m以上
使用温度	−10℃〜+40℃
外部警報信号	2段階有電圧信号 監視時　DC6V 警報時　DC12V 故障時　DC0V 無電圧信号(a接点) 監視時　OFF 警報時　ON-OFF(10秒周期) 故障時　OFF
取付方法	警報部　取付枠による壁かけ方式もしくは木ネジによる取付方式 検知部　取付板による壁かけ方式もしくは木ネジによる取付方式
電源コード	2.5m　予備コンセント付
寸法	警報部　118H × 69W × 23.5D ㎜(突起部除く) 検知部　90H × 43W × 25.5D ㎜(突起部除く)
質量	警報部　205g(コード質量含む) 検知部　55g

※爆発は、空気とガスが一定範囲で混合した場合に起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といい、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

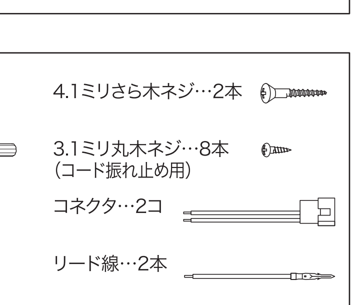
■付属品

【付属品A】

警報部アタッチメント…1コ　点検ガス…1コ　信号線(長さ5m)…1本



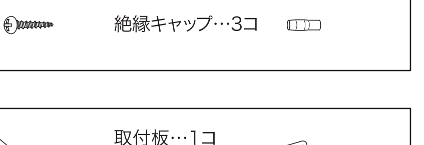
【付属品B】



- コード振れ止め…8コ
- プラスチックプラグ…2本
- 3.5ミリなべ小ネジ…2本
- 4ミリ丸小ネジ…1本
- 4ミリさら小ネジ…4本
- 3.1ミリ丸木ネジ…2本
- 4.1ミリさら木ネジ…2本
- 3.1ミリ丸木ネジ…8本(コード振れ止め用)
- コネクタ…2コ
- リード線…2本
- 圧着端子…3コ
- 絶縁キャップ…3コ

【付属品C】

取付枠…1コ　取付板…1コ



※付属品 B、C は同梱していない製品もあります。

3. 警報器の機能について

ガス警報機能

「LPガスがもれたときは」

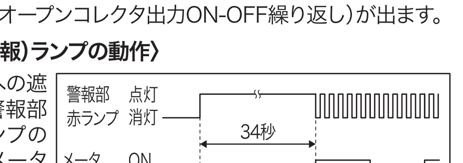
検知部周囲のLPガス濃度が規定値以上になると、検知部の赤(ガス警報)ランプが点滅を開始します。その後すぐに警報部の赤(ガス警報)ランプが点灯し警報音が鳴ります。

無電圧出力

警報音が連続して約34秒鳴り続けた場合、マイコンガスメータへの遮断信号(トランジスタのオープンコレクタ出力ON-OFF繰り返し)が出ます。

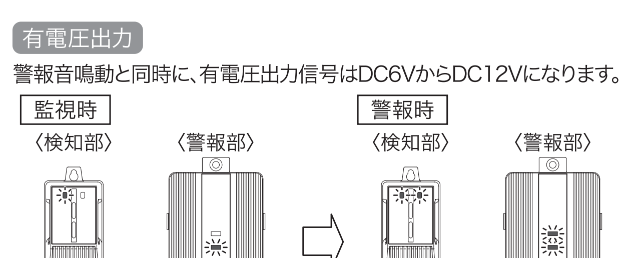
〈警報部の赤(ガス警報)ランプの動作〉

マイコンガスメータへの遮断信号有無により、警報部の赤(ガス警報)ランプの動作がかわります。メータ遮断信号が出力されると赤(ガス警報)ランプが点灯から点滅に変わります。



有電圧出力

警報音鳴動と同時に、有電圧出力信号はDC6VからDC12Vになります。



ブザー設定時:「ピッポッピッポッ」
音声設定時:「ピッポッピッポッ
ガスがもれていませんか」

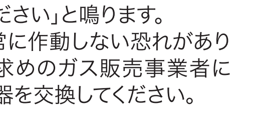
点検モード

電源を入れてから約10分間は点検モードがはたらき、ガスを検知して警報状態となってから約2秒後に無電圧信号を出力することにより、マイコンガスメータとの連動遮断確認を容易にしています。
(電源を入れてから10分以降は、約34秒の遅延後無電圧信号が出力されます。)

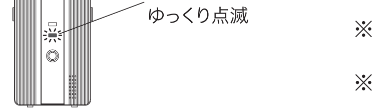
交換期限切れお知らせ機能

「警報器の交換期限が過ぎたときは」

警報器の交換期限が過ぎると緑(電源)ランプが下図のようにゆっくり点滅します。この時、点検/警報停止スイッチを押すと、「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」と鳴ります。
警報器が正常に作動しない恐れがありますので、お求めのガス販売事業者に連絡し、警報器を交換してください。



〈ランプ動作〉



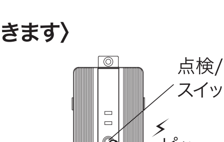
スイッチ点検機能

①点検/警報停止スイッチの短押し(約1秒間)により、「ピッ」と鳴動後警報部の赤(ガス警報)ランプが点灯(約5秒間)し、ガス警報音が鳴動します。
　※無電圧信号と有電圧信号は出力されません。
②点検/警報停止スイッチの長押し(約3秒間)により、「ピッ」「ピッピッ」と鳴動後警報部の赤(ガス警報)ランプが点滅(約60秒間)し、ガス警報音が鳴動します。また、無電圧信号も約60秒間出力されます。
　※有電圧信号は出力されません。
　※動作中に点検/停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、点検が即時に終了します。

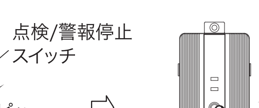
〈交換期限切れお知らせ機能を解除することもできます〉

①点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
　受付音が「ピッ」と鳴りますのでスイッチから指を離してください。
②3秒以内にもう一度、点検/警報停止スイッチを押してください。受付音が「ピッ」と鳴り交換期限切れお知らせ機能が解除されます。
③電源プラグを差し込み、3秒後に警報部の緑(電源)ランプが2回点滅すれば、交換期限切れお知らせ機能が解除されています。

※出荷時は交換期限切れお知らせ機能の設定は「あり」となっています。
※交換期限切れお知らせ機能の切替は何度でも可能です。お客さま自身で交換期限切れお知らせ機能を解除された場合は、お求めのガス販売事業者に交換期限切れお知らせ機能を解除した旨をお伝えください。
※長時間コンセントが抜かれていた場合、交換期限切れお知らせ時期が延びます。

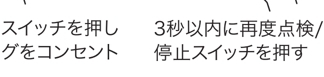


点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込む

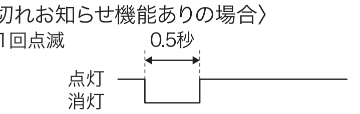


3秒以内に再度点検/警報停止スイッチを押す

〈交換期限切れお知らせ機能ありの場合〉
3秒後に1回点滅



〈交換期限切れお知らせ機能が解除された場合〉
3秒後に2回点滅



警報履歴表示機能

過去10日間にガス警報があったか確認することができます。
点検/警報停止スイッチの長々押し(約5秒間)により、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」と鳴動後、過去10日間以内にガス警報があった場合は警報部の赤(ガス警報)ランプが約5秒間点滅します。
ガス警報が無かった場合、もしくはガス警報発生から10日間以上経過していた場合は、赤(ガス警報)ランプは点滅しません。

警報音切替機能

警報音は、音声に切替えることができます。
※出荷時はブザーに設定されています。警報音の切替は何度でも可能です。

①警報部の点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
　長押し(約3秒間)により、「ピッ」「ピッピッ」と鳴動したらスイッチを離してください。
　現在の設定による警報音が鳴ります。
　　ブザー設定時:「ピッポッピッポッ」(連続)
　　音声設定時:「ピッポッピッポッ ガスがもれていませんか」(連続)
②点検/警報停止スイッチを再度短押し(約1秒間)し、「ピッ」と鳴動後スイッチを離すと警報音が切替り、切替った警報音が鳴ります。
③約15秒後「ピー」と鳴ったら終了です。

故障検出機能

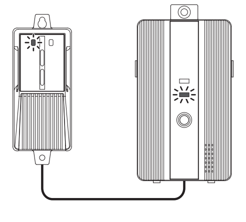
警報器が故障した場合、緑(電源)ランプ、故障音、有電圧出力にてお知らせします。

故障内容	緑(電源)ランプ		故障音		有電圧出力
	検知部	警報部	ブザー設定時	音声設定時	
検知部故障	速い点滅	速い点滅	ピッピッピッ (1分毎)	ピッピッピッ 検知部故障です 販売店に連絡してください (1分毎)	0V
警報部故障	点灯	速い点滅	ピッピッピッ (1分毎) ※	ピッピッピッ 警報部故障です 販売店に連絡してください (1分毎) ※	0V
検知部ー警報部間の信号線異常	点灯または消灯	2秒間隔で2回速い点滅	ピッピッピッ (1分毎)	ピッピッピッ 信号線の異常です 販売店に連絡してください (1分毎)	0V

故障音、有電圧出力は点検/警報停止スイッチを押すことで約36時間停止することができます。(緑(電源)ランプの速い点滅は止まりません。)
36時間経過後も故障音の停止は繰り返しできます。
※スピーカ断線故障の場合は警報音は出力しません。

4. 始　　動

①電源プラグをコンセントに差込んでください。
　警報部の緑(電源)ランプと検知部の緑(電源)ランプ、赤(ガス警報)ランプが点灯します。
②3秒後に警報部の緑(電源)ランプが1回もしくは2回点滅し、交換期限切れお知らせ機能の設定を表示します。検知部の赤(ガス警報)ランプは3秒後に消灯します。
③電源を入れてから約5秒後、監視状態となりガスの検知が可能となります。



⚠注意

- ●電源を入れてから約5秒間はガスがかかっても作動しません。
- ●検知部周囲にガスが存在していた場合や警報器が長期間通電されないまま放置していた場合など、電源投入後鳴動する場合があります。
- ●電源投入後、1分経っても鳴りやまなければ故障が考えられますので、お求めのガス販売事業者に連絡してください。

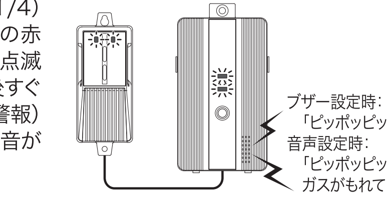
《点検モードについて》

電源を入れてから約10分間は点検モードがはたらき、ガスを検知して警報状態となってから約2秒後に無電圧信号を出力することにより、マイコンガスメータとの連動遮断確認を容易にしています。
(電源を入れてから10分以降は、約34秒の遅延後無電圧信号が出力されます。)

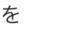
5. 警報音が鳴ったときの処置

ガスもれにより警報音が鳴り、赤(ガス警報)ランプが点灯または点滅している場合

もれたガスの濃度が警報設定値(LPガスの爆発下限界の1/100〜1/4)に達すると、検知部の赤(ガス警報)ランプが点滅を開始します。その後すぐに警報部の赤(ガス警報)ランプが点灯し警報音が鳴ります。



警報音が鳴ったら次の手順で処置してください。



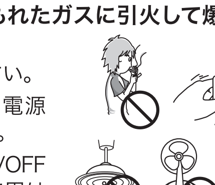
①燃焼器具のガス栓や器具栓を閉め、ガスの元栓を閉めてください。

②窓や戸を開け自然換気してください。

③ガスが警報設定値以下になると警報音が鳴りやみ、赤(ガス警報)ランプが消灯します。

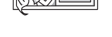
④警報音が鳴りやまない場合は、ただちにガス販売事業者に連絡してください。　❗必ず行う

⚠危険　火や火花により、もれたガスに引火して爆発する危険があります。



- ●火気は絶対に使用しないでください。
- ●警報音が鳴り終わらないうちに電源プラグを引き抜かないでください。
- ●換気の時は、電灯のスイッチをON/OFFしたり、換気扇・扇風機などの使用は危険ですから絶対にしないでください。

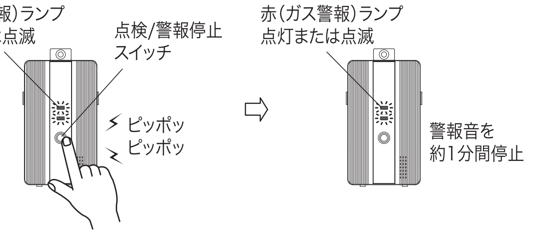
スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどにより警報音が鳴り、赤(ガス警報)ランプが点灯または点滅している場合



①窓や戸を開け自然換気してください。

②検知部周囲のガス濃度が規定値以下になると赤(ガス警報)ランプの点灯・点滅や警報音が止まります。

③警報の原因が分かっている場合は、電源プラグを抜かずに点検/警報停止スイッチを押してください。約1分間警報音と外部出力を停止することができます。



《お願い》

警報器の電源プラグを抜かないでください。
マイコンガスメータの復帰作業については、マイコンガスメータの取扱説明書または操作タグをご覧ください。

⚠注意

警報音を停止しても検知部周囲にガスが残っている場合は、再度警報音が鳴ります。この場合は再度点検/警報停止スイッチを押しても警報音は止まりません。

6. 点検方法

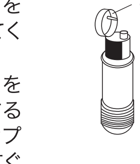
1)日常点検

日常の点検は、検知部及び警報部の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

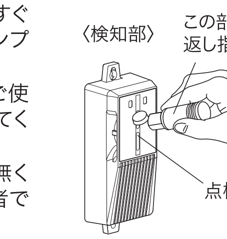
2)作動点検

1ヶ月に1度、点検ガスによる作動点検を行ってください。
点検するにあたっては、ガス販売事業者に相談のうえ実施してください。

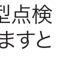
点検ガスの使い方



①点検ガスの上蓋を開け、先端を検知部の点検口に押し当ててください。
②点検ガスの胴部を押してガスをかけてください。ガスを検知すると検知部の赤(ガス警報)ランプが点滅を開始します。その後すぐに警報部の赤(ガス警報)ランプが点灯し警報音が鳴ります。
③点検ガスは揮発性ですから、ご使用後はキャップをかたく締めてください。
④点検ガス容器内の固形物が無くなりましたら、ガス販売事業者でお買い求めください。



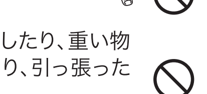
⚠警告　点検ガスについて



- ●付属の点検ガス以外のもの(ガスライター、ライター型点検ガスなど)は、絶対に使用しないでください。使用しますと故障の原因になります。
- ●小さなお子さまのいるご家庭では安全のために、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- ●直射日光、高温、火気をさけて保管してください。

7. 使用上のご注意

⚠警告



- ●分解や改造は絶対にしないでください。
  正常に作動しない恐れがあります。
- ●電源コードを切断したり、傷つけたり、加工したり、重い物をのせたり、はさみ込んだり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
  火災や感電の原因となります。
- ●ガス検知部をふさいだり、検知部の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。
  警報しなかったり、警報遅れの原因となります。
- ●落下させたり、衝撃を加えないでください。
  故障の原因となります。
- ●電源コードはステップルまたは釘などで固定しないでください。(電気設備技術基準で禁止されています。)
- ●電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでください。
  また、電源プラグは時々お手入れしてください。たまったホコリに湿気が加わり、発火・焼損につながる恐れがありますので、電源プラグの刃及び刃の取付面のゴミやホコリをかわいた布等で取り除いてください。

⚠注意

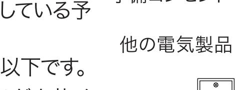
- ●この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。
- ●警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。その範囲を超える電圧では使用しないでください。
- ●警報部及び検知部は多少温かくなりますが、異常ではありません。
- ●清掃は湿った布で拭いてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は使わないでください。
- ●取付位置を移動する場合は、ガス販売事業者にご相談ください。

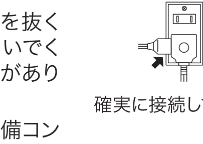
⚠注意

- ●転居等で住所がかわった場合やご使用されるガスの種類がかわった場合、当LPガス警報器が移転先でも使えるかどうか、また取付位置等を移転先のガス販売事業者に確認してください。
- ●警告表示(「警報器が鳴ったら」ステッカー)をよくお読みのうえ、必ず目につく場所に警告表示を貼ってください。
  また、警告表示に緊急時の連絡先の名称・電話番号が記入されているか確かめてください。

⚠注意　予備コンセント付電源プラグの使用方法

- ●警報器以外の電気製品を同時に使用する場合は、警報器のプラグに付属している予備コンセントをご利用ください。
- ●接続できる電気製品は1490W以下です。
- ●接続した他の電気製品のプラグを抜く時に、手前にこじって引き抜かないでください。プラグ部が破損する場合があります。
- ●警報器のプラグに付属している予備コンセントを使用する時は、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切(OFF)」にしてから接続してください。





確実に接続してください。

❗確かめる

廃棄処理について

- ●有効期限を経過して交換したLPガス警報器の廃棄処理
  一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。(一般廃棄物として燃焼処理した場合、有害ガスが発生する恐れがある材料が含まれています。)
- ●使用済みの点検ガスの廃棄処理
  洗浄後に廃棄プラスチックとして処理してください。(アルコールは可燃性ガスのため、全て使用して廃棄するようにお願いします。)

矢崎エナジーシステム株式会社

お客さまご相談窓口

ガス機器事業部		053(925)4511
[北海道]	札幌	011(852)2914
[東北]	仙台	022(284)9114
[関東]	東京	03(5782)2702
	埼玉	048(654)2071
[中部]	名古屋	052(769)1532
	静岡	054(283)1151
[関西]	大阪	06(6458)8185
[中国]	広島	082(568)7802
[四国]	高松	087(833)3335
[九州]	福岡	092(411)4834

※ 機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス販売事業者、または最寄りのお客さまご相談窓口にご相談ください。
なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げております。
URL：http://www.yazaki-group.com
※ 電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
766831-6-751

（キリトリ線）

LP ガス警報器

保　証　書

品名　アロッ子　　型式　YF−313A

このたびはLPガス警報器をお求めいただき誠に有難うございました。
この製品は高圧ガス保安協会検定に合格したものであります。
従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は、速やかにガス販売事業者に連絡し、本書を提示してください。
次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

- ・保証期間　警報器本体に表示された交換期限の期間内。
- ・保証適用　取扱説明書に基づく正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。
- ・保証適用除外　裏面に記載してある事項の場合。
- ・保守点検
  警報器の異常などのお申し出がありました際は無償で次の保守点検をいたします。ただし、集中監視型警報器については別途保守契約によります。
  - ⑴ 点検ガスまたは点検具(チェッカー)を使用しての作動テスト。
  - ⑵ 誤報発生の有無の確認(聴取による)。
  - ⑶ 設置場所の適否についてのチェック。

(実施者)
販売者
〒　　☎

(❗ガス販売事業者は必ず記入してください。)

(保証者)
発売元
及び
製造元

矢崎エナジーシステム株式会社
発売元(本社)
〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号 三田国際ビル17F
製造元(天竜工場)
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL 053-925-4111
(お問合せ先)ガス機器事業部
〒431-3312 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL 053-925-4511

（キリトリ線）

アロッ子 管理カード

No.
販売店保存用

このたびは、矢崎の LP ガス警報器アロッ子をお買上げいただきまして誠に有難うございました。
この管理カードは、販売店がお客さまに取付けられたアロッ子の交換期限及び、点検状況を確認する為に使用されるものです。
この利用目的にご同意いただける場合、裏面に必要事項をご記入のうえ、お買上げになられた販売店に必ずお渡し下さい。
なお、ご使用の際は取扱説明書をよくご覧下さい。

※保証の適用除外
この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。

(1) 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。
(2) 火災、天災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気などの不可抗力による故障または損傷。
(3) 取付位置が屋外、高温多湿など著しく不適当な場所及び浴室用以外のものを浴室に取付けた場合。
(4) ＬＰガス以外のガス、水や煮こぼれなどの液体、動植物による故障または損傷。
(5) その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃などによる故障または損傷。
(6) 本書の提示がない場合、ただし、本書は日本国内のみ有効です。
(7) 本書に、販売者の記入のない場合。
(8) その他製造元の責任によらない汚損、故障または損傷。
(9) 高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合。

※お願い
(1) 警報器の作動確認は、付属の点検ガスで点検してください。
(2) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
(3) 交換期限を過ぎたものは保証いたしません。警報器は安全を守るためのものですので、必ず新しいものとお取替えください。

この保証書はお客さまの民法または商法上の権利を制限するものではありません。また、警報器についてご不明の場合は、お求めのガス販売事業者または発売元製造元にお問い合わせください。

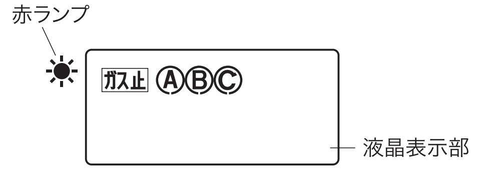
お客さま
ご芳名
〒□□□-□□□□
ご住所
電　話

（キリトリ線）

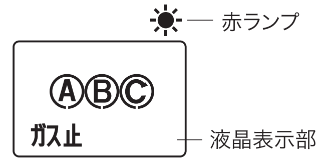
8. マイコンガスメータ連動時の処置方法

マイコンガスメータ：　EBY6シリーズ　SY4MBT1シリーズ
EY25MT　SY25MT1e
EY4MT

EYメータセキュリティ表示部



SYメータセキュリティ表示部



赤ランプ
☀ 点滅
○ 消灯

動作状態	YF-313A				マイコンガスメータの表示		処置
	ランプの状態		警報音		遮断弁の状態	セキュリティ表示	
	検知部	警報部	音声	ブザー			
①通常時	赤消灯 緑点灯	赤消灯 緑点灯			開	◯◯◯ ○	
●警報器がガスもれを感知したとき							
②警報器がガスもれを感知したとき	赤点滅 緑点灯	赤点灯 緑点灯	ピッポッピッポッ ガスがもれていませんか （連続）	ピッポッピッポッ （連続）	開	◯◯◯ ○	P10「5.警報音が鳴ったときの処置」をご参照ください。
③警報器が約34秒間鳴り続けガスを遮断したとき　注1		赤点滅 緑点灯	ピーポー ガスがもれていませんか ガスを止めました （連続）	ピーポー （連続）	止	ガス止 ◯ⒷⒸ ☀	ガスの復帰はマイコンガスメータの取扱説明書または操作タグをご参照ください。
④ガスもれ警報器による遮断後もれたガスが無くなったとき	赤消灯 緑点灯	赤消灯 緑点滅 ピカピカ… ピカピカ… ※1	ピッピッ ガスがもれていませんか ガスを止めました ※1	ピッピッ… ピッピッ… ※1			
●マイコンガスメータが異常を感知したとき							
⑤通常より長い時間ガスを使用して遮断する5分前または8分前になったとき	赤消灯 緑点灯	赤消灯 緑点滅 ピカ… ピカ… ※2	ピッ ガスを長く使っていませんか 一度止めてください ※2	ピッ… ピッ… ※2	開	◯◯◯ ○	一度ガスを止めてください。（再使用できることをお知らせしますので、その間お待ちください。お知らせ内容は⑪、待ち時間は注2）
⑥通常より長い時間ガスを使用して遮断したとき		赤消灯 緑点滅 ピカピカ… ピカピカ… ※1	ピッピッ ガスを長く使っていませんか ガスを止めました ※1	ピッピッ… ピッピッ… ※1	止	ガス止 Ⓐ◯Ⓒ ☀	ガスの復帰はマイコンガスメータの取扱説明書または操作タグをご参照ください。
⑦マイコンガスメータの復帰安全確認中にガスが流れたとき		赤消灯 緑点滅 ピカピカ… ピカピカ… ※1	ピッピッ ガスを止めました ※1	ピッピッ… ピッピッ… ※1	止	ガス止 ◯◯Ⓒ ☀	ガスの復帰はマイコンガスメータの取扱説明書または操作タグをご参照ください。
⑧通常より多量のガスが流れ遮断したとき							
⑨マイコンガスメータに接続された外部機器が作動し遮断したとき						ガス止 ◯ⒷⒸ ☀	
●ガスの使用準備ほか							
⑩マイコンガスメータの遮断弁を開けたとき	赤消灯 緑点灯	赤消灯 緑点滅 ピカピカピカ… ピカピカピカ… ※3	ピッピッピッ 安全確認中です しばらくお待ちください ※3	ピッピッピッ… ピッピッピッ… ※3	開	“ガス止”表示が消え遮断時の表示内容が点滅します。　赤ランプ点滅	EYメータの場合は約20秒間、SYメータの場合は約1分間ガスを使用しないでください。
⑪ガスが使えるようになったとき		赤消灯 緑点滅 ピカ… ピカ… ※4	ピー ガスが使えます ※4	ピー… ピー… ※4		◯◯◯ ○	

注1：マイコンガスメータの設定及びガスの使用条件により遮断時間が異なる場合があります。
注2：ストーブや煮物等で長時間使用の場合約1分間、通常では約15秒間お待ちください。

※1：10秒間隔（遮断後10分間）もしくは120秒間隔（遮断後10分～12時間）で鳴動
※2：5秒～120秒間隔で鳴動（ガスの使用量によって異なります）
※3：10秒間隔で鳴動
※4：5秒間隔3回のみ鳴動（マイコンメータの設定によっては鳴動しない場合があります）

9. 異常と思った場合の処置

■点検を依頼される前に
・この取扱説明書をよくお読みのうえ、次の確認をしていただき、なお異常があるときはガス販売事業者にお申しつけください。
・お申しつけの際は添付の保証書を提示していただく場合がありますので、大切に保管願います。

症　状	原　因
緑（電源）ランプが点灯しない。	・電源コードのプラグがコンセントに差込まれていますか。 ・停電していませんか。 ・電源ブレーカーが切れていませんか。
点検ガスをかけても警報音が鳴らない。	・電源コードのプラグをコンセントに差込んでから5秒以内ではありませんか。 ・点検口をまちがえていませんか。 ・点検ガス容器内の固形物（青色）がありますか。
ガスがもれた形跡がないのに警報音が鳴った。	・検知部の近くでヘアスプレーや殺虫剤、シンナーなどを大量に使いませんでしたか。 ・大量の酒・みりん・ワイン等、アルコールの濃い蒸気が検知部にかかりませんでしたか。
緑（電源）ランプが遅い点滅をしている。	・交換期限が切れたことをお知らせしています。ガス販売事業者に連絡して新しい警報器と交換してください。
緑（電源）ランプが速い点滅をしている。	・警報器の故障をお知らせしています。ガス販売事業者に連絡してください。
緑（電源）ランプが2秒間に2回速い点滅をしている。	・信号線の異常をお知らせしています。ガス販売事業者に連絡してください。

■この警報器についてお気付きの点、ご不明の点がありましたら、お買い求めのガス販売事業者または、お近くの矢崎エナジーシステム株式会社までお問合せください。

10. 保証

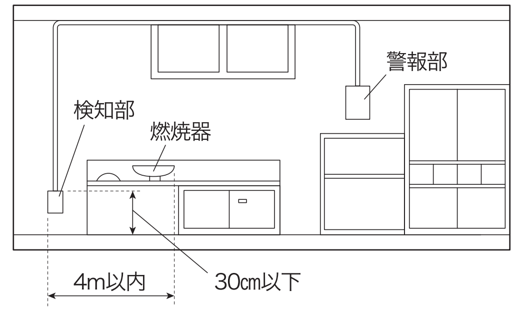
■保証期間・・・・警報器本体に表示された交換期限の期限内
・正常な使用状態で、この保証期間内に万一異常が認められた場合には、無償で『点検または交換』いたします。
・警報器は安全機器であり、この期間を過ぎたものは、必ず新しいものとお取替えください。

■施工される方へ

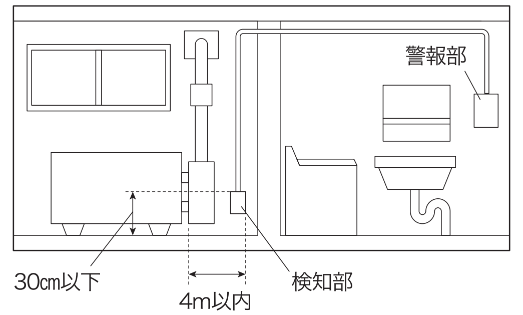
11. 取付場所

LPガスは空気より重いためもれたガスは下にたまります。
検知部は床から高さ30cm以下、遠い燃焼器具の端から水平距離4m以内でガスのたまりやすい所に取付けてください。
※床起きにしないでください。

厨房の例



浴室の例



■検知部
浴室や厨房のような湿度が高いところにも設置できます。

⚠警告

次のところには取付けないでください。故障や警報遅れの原因になります。
- ●すき間風の通りやすい所や人の出入りの多い所はガスを検知しにくいのでさけてください。
- ●液体、油、湯気等が点検口に直接かかる所には取付けないでください。点検口に液体、油、湯気等が付着すると、点検口がふさがれてガスを検知しなくなることがあります。

■警報部
信号線の長さの範囲で、警報音の聞こえやすい所を選んでお取付けください。

⚠警告

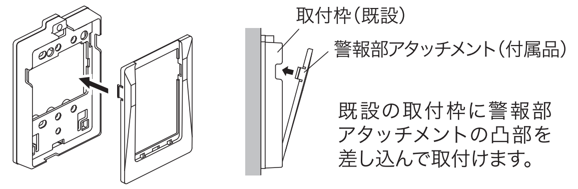
警報部は防滴構造ではありませんので、次のところには取付けないでください。故障の原因になります。
- ●湯気などが直接当たる所はさけてください。
- ●水、液体、油等がかかる所には取付けないでください。
- ●浴室には取付けないでください。

12. 取付方法

⚠注意　取付けは、ガス販売事業者が行いますので、ご自分で取付けや移動は行わないでください。

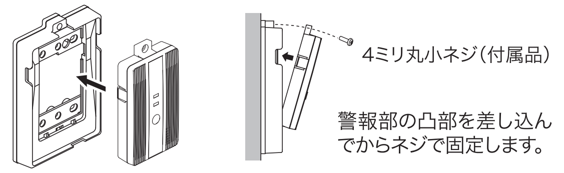
警報器の取付けは次のように行ってください。

1. 警報部の固定
〈既設の取付枠を使用する場合〉
(1)警報部アタッチメントの取付け



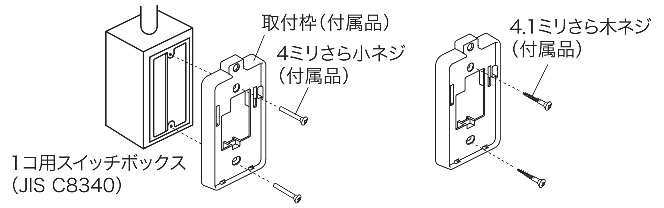
既設の取付枠に警報部アタッチメントの凸部を差し込んで取付けます。

(2)警報部の固定



警報部の凸部を差し込んでからネジで固定します。

〈新規に取付ける場合〉
(1)取付枠（付属品）の固定
①スイッチボックスを利用する場合　②壁面への取付



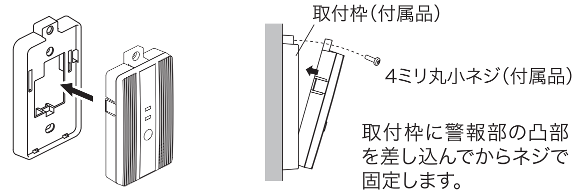
（キリトリ線）

フリガナ 氏名			
住所		TEL	
取付日	年　月　日	製造番号	
交換期限	年　月　日まで有効		
購入方法	1.リース　2.割賦　3.現金		
取付場所	1.台所　2.居間　3.その他（　　）		

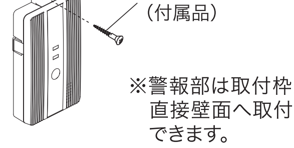
点検記録					
点検実施日	取付位置	作動状態	非ガス警報	異常内容	異常の処理
年　月　日	良・否	良・否	有・無		
年　月　日	良・否	良・否	有・無		
年　月　日	良・否	良・否	有・無		

（キリトリ線）

(2)警報部の固定

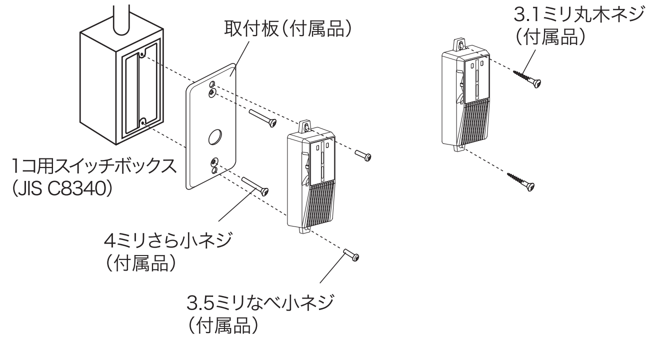


取付枠に警報部の凸部を差し込んでからネジで固定します。



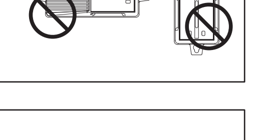
※警報部は取付枠がなくても直接壁面へ取付けることができます。

2. 検知部の固定
①スイッチボックスを利用する場合　②壁面への取付



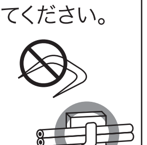
⚠警告

検知部は横及び逆さにした姿勢での取付けはしないでください。
横及び逆さにした姿勢で取付けた場合、水等が検知部にかかると検知部内に水が入りこみ、故障の原因になります。



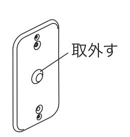
⚠注意

電源コードは付属のコード振れ止めを使って固定してください。
警報器が電源コードに引っ張られて傾くような場合は、付属のコード振れ止めで警報器のすぐ下を止め、一旦コードを真下に引き出してください。
コード振れ止めが接着だけでは弱い場合は、付属の3.1ミリ丸木ネジを使用してください。



⚠注意

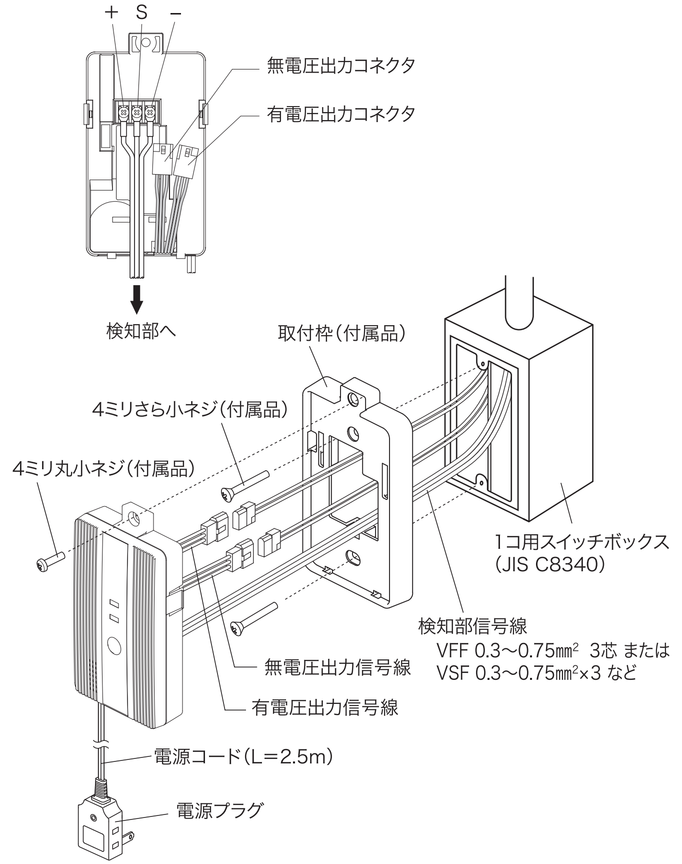
既存の検知部用取付板に本検知部（SD−026）を取付ける場合は、取付板のゴムブッシュを取外してください。
ゴムブッシュを取外さないと、SD−026と取付板の間に隙間があき、取付けることができません。



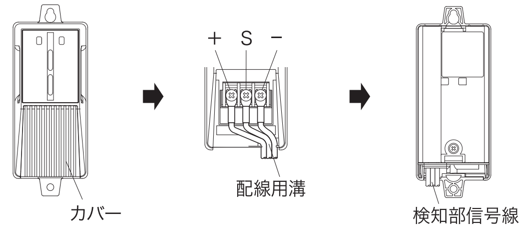
《お願い》
- ●コンクリート壁などに取付ける場合は、付属のプラスチックプラグを打ち込んで木ネジを使用してください。
- ●検知部、警報部正面のネームプレート表面には、キズ・汚れ防止のために保護フィルムが貼られています。
警報器設置の前に保護フィルムをはがしてお使いください。

13. 警報部と検知部の接続方法

■警報部
〈警報部裏面〉



■検知部
①正面のカバーをはずしてください。
②端子台に検知部信号線を接続してください。
③カバーをしめてください。



⚠注意

- ●信号線は配線用溝を通し、カバーではさまないよう注意してください。
- ●配線工事は、電気設備技術基準の関連事項に従って工事を行ってください。
- ●信号線は極性がありますので注意してください。
間違えた場合は警報音で誤接続をお知らせします。（P8参照）
- ●信号線の接続は確実に行ってください。

※警報器交換時は、既設信号線を取外し、付属の新しい信号線に交換することを推奨します。
※付属の信号線は必要な長さに切ってご使用ください。
また、絶縁キャップは圧着端子を加締める前に信号線に通しておき、加締め後圧着端子にはめ込んでください。
※検知部信号線は200mまで延ばして接続することができます。
（0.3㎟の場合）

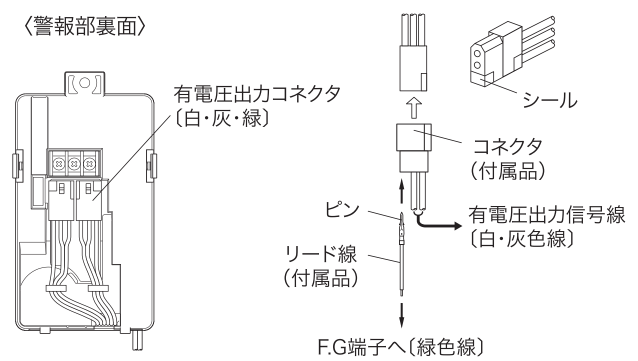
14. 警報部コネクタと外部機器との接続方法

⚠注意

- ●コネクタの接続は確実に行ってください。
- ●有電圧出力コネクタと無電圧出力コネクタは、同時に使用することができます。
- ●信号線は極性がありますので注意してください。

有電圧出力コネクタの接続方法

〈警報部裏面〉



■信号線の延長距離（有電圧出力の場合）
0.8㎜以上の単線または0.5㎟以上のより線を使用した場合、1500mまで可能です。

■接続できる外部機器
コントローラー　YCB-12シリーズ　ガス警報ブザー　EB-8L
YCB-15シリーズ　集中監視盤　AAP211

■コネクタ信号線の極性
白色…㊉極性　灰色…㊀極性　緑色…F.G（フレーム・グランドの略）

■F.G線を接続する場合
緑色のリード線（付属品）をコネクタ（付属品）に差込んでください。

《お願い》
- ●ピンのついている側をコネクタに差込んでください。
- ●止まる位置まで確実に差込んでください。
- ●差込んだ後、抜けないことを確認してください。
- ●F.G線は雷のノイズから機器を守るためのものです。
コントローラー内の接続については、各コントローラーの取扱説明書及び取付説明書をご覧ください。

⚠注意

F.G線（緑色）は大地接続しないでください。
（電力会社の保安点検に合格しないことがありますので、接地はしないでください。）

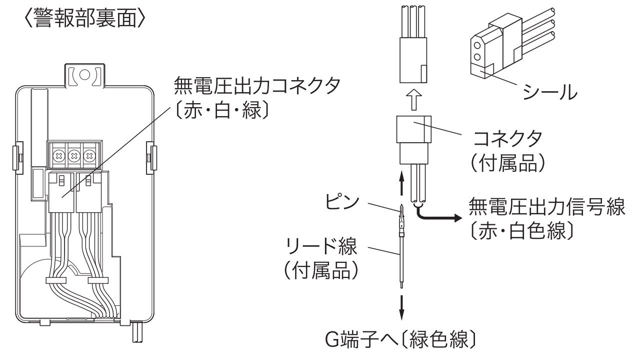
■F.G線を接続しない場合

⚠注意

警報器側のコネクタに貼付してあるシールは、はがしたり、破ったりしないでください。
（雷のノイズにより、機器が故障する恐れがあります。）
また、付属の緑色のリード線は使用しないでください。

無電圧出力コネクタの接続方法

〈警報部裏面〉



■接続できる外部機器
マイコンガスメータ　EBY6シリーズ　SY4MBT1シリーズ
EY25MT　SY25MT1e
EY4MT

■コネクタ信号線の極性
赤色…㊉極性　白色…㊀極性　緑色…G（グランドの略）

■G線を接続する場合
緑色のリード線（付属品）をコネクタ（付属品）に差込んでください。

《お願い》
- ●ピンのついている側をコネクタに差込んでください。
- ●止まる位置まで確実に差込んでください。
- ●差込んだ後、抜けないことを確認してください。
- ●G線（緑色）をガスメータのG端子に接続してください。
- ●ガスメータへの接続については、関連システムの施工マニュアルをご覧ください。

■G線を接続しない場合

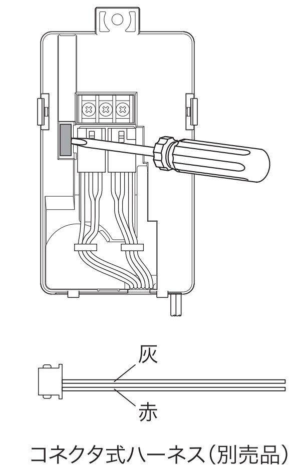
⚠注意

警報器側のコネクタに貼付してあるシールは、はがしたり、破ったりしないでください。
（雷のノイズにより、機器が故障する恐れがあります。）
また、付属の緑色のリード線は使用しないでください。

業務用換気警報器との接続方法

業務用換気警報器（YZ-165B又はYZ-165C）が警報した時の外部出力信号を受けて、マイコンガスメータに遮断信号（無電圧信号）を即時に出力します。

〈警報部裏面〉



コネクタ式ハーネス（別売品）

①警報部のコネクタ封印シールを外し、別売品のコネクタ式ハーネスを警報部のコネクタへしっかりと奥まで差込んでください。
②業務用換気警報器の外部出力にも同様に別売のコネクタ式ハーネスを差込んでください。
詳細は業務用換気警報器の取扱説明書をご覧ください。
③コネクタ式ハーネスの極性は、赤（＋）灰（－）となっています。
警報部と業務用換気警報器の同じ色の線どうしを接続してください。